

もくじ

- ・ ちゅうもん おお りょうりてん
注文の多い料理店

ちゅうもん おお りょうりてん
注文の多い料理店

げんさく 原作：みやざわ けんじ 宮沢 賢治

イラスト： ななほし

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

きぎ おしげ やまおく みち ふたり わか おとこ
 木々の生い茂る、山奥のけもの道を、二人の若い男
 しろくま おお いぬ にひきつ ある
 が、白熊のように大きな犬を二匹連れて歩いて
 かた てっぽう かつ み
 いました。肩に鉄砲を担いでいるところを見ると、
 ふたり か やま はい
 どうやら二人は、狩りをしにこの山に入ったようです。
 ふたり やま けわ ひとり あんないにん
 二人のいる山はとても険しく、もう一人いた案内人の
 てっぽう う
 鉄砲撃ちは、はぐれてどこかに行ってしまいました。
 つ にひき いぬ つか
 そのうち連れていた二匹の犬も、疲れてめまいを
 お あわ ふ たお
 起こし、泡を吹いて倒れてしまいました。

わたし もど おも
 「なあ、私はもうそろそろ戻ろうと思うんだが」
 わたし おも さむ はら
 「私もそう思っていた。寒くなってきたし、腹も
 す ひ あ
 空いた。ここで引き上げよう」
 き
 「決まりだな！」



ところがこまったことに、あんまり山が深いので、
今自分がどこにいるのか、どちらの方角に行けば宿に
戻れるのかが、わからなくなってしまいました。

風がドォッと吹いてきて、草はザワザワ、木の葉は
カサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました。

「あ～腹がへった。どうもさっきから、横っ腹が痛くて
たまらないんだ」

「私もそうだ。できればもう歩きたくないよ。
ああ、まいった」

二人は、ザワザワと鳴くススキの中で、そんなことを
つぶやいていました。

ちょうどその時です。

「ん・・おい見してくれ、なんだあれは・・」

